

平成20年度 学校関係者評価委員による学校評価の妥当性と今後の課題

	質問項目	学校関係者評価委員による評価の妥当性				結果に対するコメントや今後の課題	
		当てはまる	概ね当てはまる	当てはまらない	分からない		
児童の様子 ・学校生活 ・言葉遣い ・学習態度 ・学力 ・当番活動 ・規範意識 ・家庭のしつけ	1	子どもたちの表情が明るく、毎日楽しく学校に通っている。	5	0	0	0	・保護者と先生とのギャップがあるところは考えさせられた。 ・全体的に評価は当てはまる。教員の評価は全てにおいて厳しいと感じ、常盤台小学校の教員それぞれの、仕事に対する意識の高さを強く感じた。 ・「児童の様子」項目の中で、挨拶やルールを守る、生活習慣などは家庭教育とつながる部分が多く、保護者の評価において、学校の評価だけでなく、家庭の評価も含まれているものと考えられる。このアンケートが保護者にとって家庭教育を振り返る機会になっていれば、学校評価の向上にもつながるのではないかと。 ・子どもに関心を持っている保護者が多いというのは恵まれていると思う。 ・保護者と教員評価の間で多少の差が出ている部分では、保護者の個人差が出ていると考えられ、一部の保護者のモラル向上と、学校全体を把握することで差は縮まるのではないかと。 ・極一部の「全く当てはまらない」「あまり当てはまらない」にスポットを当てることよりも、「よく当てはまる」「当てはまる」をいかに維持していくかが大切であるとする。常盤台小学校においては評価が高いので、これが守られることと、これに甘んじることなく維持されることが望まれる。 ・常盤台小学校の教員はとても熱心で、チームワークが非常に高く、限られた中で子どもたちのために努力を惜しまない。これを保護者が同じように評価したことはとても喜ばしいことである。 ・割合遠い地域から来ている子ども、生き生きと通ってきている様子が伺える。
	2	子どもたちは、気持ちのよい挨拶や正しい言葉遣いをしている。	2	3	0	0	
	3	子どもたちは、学習内容を理解しようと意欲的に学習している。	3	2	0	0	
	4	子どもたちは、基礎的・基本的な学力が身に付いている。	4	1	0	0	
	5	子どもたちは、授業や学校行事、給食当番や掃除当番などで、お互い協力している。	2	3	0	0	
	6	子どもたちは、集団生活のルールや学校のきまりを守って学校生活を送っている。	1	4	0	0	
	7	子どもたちは、基本的な生活習慣が身に付いている。	2	3	0	0	
	8	子どもたちは、家庭学習の習慣が身に付いている。	1	4	0	0	
本校の教育 ・行事への取り組み ・授業への取り組み ・情報の発信 ・安全管理	9	音楽活動や読書活動などの特色ある教育や、運動会や学芸会などの行事が充実している。	5	0	0	0	・⑨と⑩は、先生の指導に情熱が見られる。 ・安全管理面では、子どもたちが安全・快適に学べるよう教員は最大限の配慮と努力をしているが、その教員が守られていないと思う。学校全体が守られるよう、いろいろな面を善処するべきと考える。 ・学校ではいろいろと工夫を凝らし、行事・授業などメリハリをつけてがんばっている教職員の姿も目につく。 ・先生方がかなり子どもたちに対して考え、時間を割いていらっしゃる方だと思う。 ・PTAも学校との連携を目指して、保護者一人一人に協力を呼びかけている様子が見える。
	10	学校は、基礎学力の定着を図るために、指導の工夫をしている。	3	2	0	0	
	11	学校は、一人一人の子どもたちに対し、学習面や生活指導上の悩みなどに対応している。	3	1	0	1	
	12	学校は、学校便りや保護者会等で、教育方針や学校情報を分かりやすく伝えている。	4	1	0	0	
	13	学校は、保護者会、個人面談、通知表等で子どもの育ちをよく伝えている。	3	2	0	0	
	14	防犯や防災に対する安全管理がなされ、子どもたちが安全・快適に学べるよう配慮されている。	3	2	0	0	
地域との関わり	15	子どもたちは、PTAや地域の行事に積極的に参加している。	3	1	1	0	・地域全体で見ても、どうしてもむずかしい。 ・地域行事に参加できるとよいと思う。